

東大阪市農業振興啓発協議会の取組み

(構成団体) JAグリーン大阪 JA大阪中河内 大阪府北部農業共済組合
大阪府中部農と緑の総合事務所 東大阪市農業委員会
東大阪市経済部農政課・事務局

今後の課題等

農業振興啓発協議会・農政課が取組むなかで、現在業務的に飽和状態にあり、これ以上の取組みは困難になっている

□農業振興啓発協議会では、ファームマイレージ運動をはじめ以下の事業に取り組んでいます。

* 下線は連携団体等を表示

○農業体験事業 営農研究会(農家で組織)が講習
(小学校対象)のべ6小学校を対象に実施
じゃがいも栽培・収穫体験、稲作体験、大根体験事業

対象農地が減少している
指導する農業者の高齢化

○米の栽培・収穫・加工・販売体験事業「THE 米」
5月市政だより募集 6月田植え 10月稲刈り・収穫 11月 加工・販売体験
加工講師はフランス料理店「ふれんちん」シェフ
販売体験はJAグリーン大阪・フレッシュクラブ

○大人のための農業体験プログラム「いも」
4月市政だより募集 5月苗植え 10月芋ほり・収穫・酒造会社へ芋搬入
翌年5月 試飲会 (平成26年度より実施)

○ファームマイレージ運動に参加する消費者の収穫体験事業
ファームマイレージ運動に参加し、アンケートに協力いただいた消費者を対象にエンドウ豆など春野菜の収穫体験事業を実施 H27.5月 東地区園場

消費者向け体験事業については、取組み方を工夫する必要がある

○地産地食の収穫体験事業
H27.3月 第4回目を実施
市内などでパンの製造販売を行う鳴門屋製パン(株)はJAグリーン大阪直売所を通じて仕入れたエコほうれん草入り食パン「ポパイラウンド」をH23から製造販売このパンにはファームマイレージ運動のタグが付いており、タグを集めた消費者を対象にイベントを開催
(畑で生産者・パン生産者の説明、食材のほうれん草の収穫体験・実食など)

○地場野菜を使った料理コンテスト(平成25、26年度実施)
「地産地食の鉄人」料理コンテスト 会場:JA料理室
4月市政だより募集、市内小学校5・6年生に案内書配布 6月予選会 7月決勝大会
優勝メニューはフランス料理店「ふれんちん」メニューとして1ヶ月間提供
(ファームマイレージ運動に参加:在花園商店街)

地場農産物と料理に関心があり、アイデア・独創性が求められるため、参加者を多く見込めない

○農の講習会「野菜栽培と病害虫防除」(平成26年度未実施)
(貸農園利用者対象)農薬の安全使用と野菜栽培
10月、3月に合計4回開催 講師:大阪府中部農と緑の総合事務所技師

講師の予算・人材や内容のマンネリ化があるが、市民・消費者向けの安心・安全な農産物に関する講習会などの検討

○担い手、後継農業者の育成・支援事業 (平成26年度未実施)
第2回「青年農業者 先進地視察研修会」平成26年2月 三重県・松本市
後継者の栽培技術の向上とニーズにあった新たな経営改善と、後継者同士の交流
(参加者:青年農業者、各JA営農指導員、大阪府の普及員など約20人)

○農家女性のための交流会事業 (平成26年度未実施)
趣旨・農業技術と知識の向上・男女平等・男女共同の経営の実践
・安全、安心、地産地消への貢献
第1回平成22.12.20 第2回平成23.3.3 3回平成25.3.21

○菊の啓発事業
玉串の若手菊農家が花作りに取り組んでいるが、その中でも「ピンポン菊」を全国に向けたブランド品として確立するため、市民向けに啓発活動をおこなう。
(菊花を使ったデザインフラワー展示会) 協力者 大阪テクノホルティ園芸専門学校
門学校の生徒
○平成22年12月13日～17日 布施駅前夢広場 リージョンセンター内
○平成23年11月28日～12月5日 関西国際空港国際線到着ロビー
(菊花を使ったアレンジメント教室の開催)
市内で歴史ある玉串の菊の啓発事業 (平成22年度より実施)
玉串花卉生産組合と連携して事業を実施 11月 市政だより募集 12月開催

菊を使ったアレンジメント教室の開催は非常に好評であるが、花きの販売経路が市場での流通が主なため、市民・消費者が地場産を購入することに繋がらない